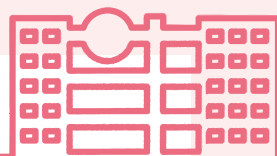


CSR NEWS



2014 JUN / Vol.3



つながることで生まれる 新しい力

●メディア企業の強みを生かした多様なCSR活動を展開

認定放送持株会社「フジ・メディア・ホールディングス」は、新たなメディア集合体を目指す中で、CSR(=Corporate Social Responsibility)活動を重要な企業活動のひとつとして位置づけています。これまで傘下の各社が本業を生かしながら、社会に対して果たすべき責任を検討・実行してきました。

ここ数年は各社独自の取り組みに加え、フジ・メディア・ホールディングス全社で協働して実施する活動も増えてきています。

今後も社会貢献活動・環境対策について幅広く検討を重ねながら、他社にはできないメディア企業ならではのCSR活動を展開していきます。

2013年度 CSR活動 TOPICS

●東北に笑顔の花を。グループ会社がタッグを組んで復興支援

ディノス・セシール復興支援活動

『東北に春をお届けします。』

○フジ・メディア・ホールディングスで、 福島・国道6号線沿いに桜の苗290本を植樹

ディノス・セシールの復興支援活動『東北に春をお届けします。』では、2011年に開始して以来、対象カタログでの購入1回ごとに10円を同活動に充てるなど、コース・マーケティング※で顧客参加型支援を行ってきました。

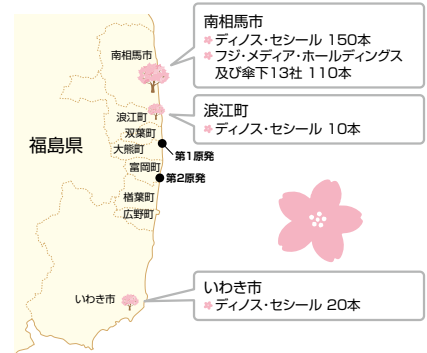
2013年度は新たな取り組みとして、福島県の国道6号線沿いに桜を植樹する「ふくしま浜街道・桜プロジェクト(主催:『ふくしま浜街道・桜プロジェクト』実行委員会)」への支援を追加し、フジ・メディア・ホールディングス及び傘下13社の協賛も得て、計290本の植樹費用を寄付しました。

2月に予定されていた植樹イベントは記録的な大雪のため中止となりましたが、後日代表メンバーが、今回の主な植樹地である、福島県南相馬市小高地区で実際に植樹を行いました。

毎年桜の成長を楽しんでいただけるよう、また、20年後、30年後に福島のこの場所が見事な桜の名所となるよう、今後もこの活動を支援していきたいと考えています。



株式会社 ディノス・セシール



○フジテレビ『ずっとおうえん。プロジェクト』とのコラボで、 花のお届けイベントを実施

『東北に春をお届けします。』のもう一つの取り組みとして、宮城県(石巻市・岩沼市)及び岩手県(陸前高田市・大船渡市・釜石市・遠野市・大槌町)の沿岸部を中心とした児童関連124施設に、「クリサンセマム(キク科)」の花の苗22,232鉢をお届けしました。

また、3年目となる今年も、フジテレビ『ずっとおうえん。プロジェクト』の協力を得て、宮城県石巻市の幼稚園・保育園3ヶ所にて、フジテレビ山中章子アナウンサーによる春の花にちなんだお話の朗読や、地元・仙台放送の人気キャラクター・ジュニくんとの「ジュニ体操」を盛り込んだ、お届けイベントを実施しました。



※コース・マーケティングとは

コース・マーケティングは、正しくはコース・リレーテッド・マーケティングといい、慈善事業協賛型マーケティングと訳されます。現在では単にコース、寄付つき商品・サービスと称されることも多く、販売連動型チャリティ、という表現も使われます。ディノス・セシールでは2008年より、寄付つきクーポンキャンペーンやカタログ・WEBでの購入に連動した寄付など、コース・マーケティングに広く取り組んでいます。

●被災地を「ずっと」忘れない… 今年もプロジェクトを拡大

フジテレビ ずっとおうえん。プロジェクト

○ニーズに合わせた様々なイベントを開催

フジテレビを中心に継続している『ずっとおうえん。プロジェクト』では、東日本大震災発生直後から被災地のニーズに合わせた様々なイベントを行っています。2011年から3年間に渡る被災地復興支援活動で、合計139ヶ所を訪れ、約1万4千人の方々と出会ってきました。2013年度は、被災3県だけではなく伊豆大島や長野県栄村など、他にも台風や地震の被害を受けた地域に出向き、子どもからお年寄り、障がいを持っている人たちにも楽しんでいただけるイベント等を行いました。東日本大震災から3年が経過し、被災地を訪れていて「ようやく本当の復興が始まった」と感じます。震災の記憶を風化させないためにも、被災地“復興”支援『ずっとおうえん。プロジェクト』を継続していきます。



2013年度は48ヶ所に伺い5,400人と出会いました!

(2013年4月1日～2014年3月31日)

のべ23人のアナウンサーが参加

2013年度に伺った場所

岩沼市岩沼はるかぜ保育園 / 岩沼市東保育所 / 栄村北信保育園 / 特別養護老人ホーム フランセーズ悠さかえ / 栄村文化会館 / 久慈市いなり保育園 / 久慈湊保育園 / 久慈市門前保育園 / 久慈市川貫保育園 / 久慈市畑田保育園 / 郡山市双葉第二幼稚園 / 郡山市双葉幼稚園 / 会津若松市飯盛山さざえ堂 / 南三陸町にじのはクラブ / 南三陸町のぞみ福祉製作所 / 気仙沼市浜の会所 / 気仙沼市竹の会所 / 釜石市小佐野保育園 / 釜石市釜石神愛幼稚園 / 釜石市(社)愛泉会 / 釜石保育園 / 仙台放送祭り / 仙台縁日 / 南相馬市原町子育て支援センター / 二戸市民文化会館 / 利府町さわおとの森 / 普代村はまゆり子ども園 / 久慈市小袖保育園 / 久慈市侍浜保育園 / セキ浜町子育て支援センター / セキ浜町和光幼稚園 / セキ浜町立遠山保育所 / セキ浜町認定こども園遠山保育園・幼稚園 / セキ浜町認定こども園汐見台保育園・幼稚園 / 大島町岡田保育園 / 大島町子ども家庭支援センター / 大島町波浮保育園・差木地保育園 / 大島町元町保育園 / 大島町北ノ山保育園 / 東松島市小野保育所 / 東松島市のびる幼稚園 / 東松島市矢本西保育園 / 野田村保育所・日向保育所・玉川保育所 / 仙台市カール英会話こども園 / 仙台市トリム幼稚園 / 石巻市住吉幼稚園 / 石巻市河北幼稚園 / 石巻市橋浦保育所 / 大船渡市リアスホール

TOTAL

3年間で伺った場所

139ヶ所

参加人数：約 14,000人

2014年3月31日現在

数々のイベントを通じて、
たくさんの笑顔と出会いました!

2011年3月～2012年3月 『こどもおうえんプロジェクト』	53ヶ所	約5,000人
2012年度 『ずっとおうえん。プロジェクト』	38ヶ所	約3,700人
2013年度 『ずっとおうえん。プロジェクト』	48ヶ所	約5,400人



○2014年度は次代を担う若者たちをおうえん

復興には、被災地の若者が元気に夢を持って生きていくことがまず重要だと考えます。大震災以降、被災地の子どもたちの数は減っています。それでも、故郷を愛し、そこで生きていくことを決意し、強く立ち上がった子どもたち・若者もたくさんいます。

新しい建物や道路はできても、若者が夢と希望を持って生きていくことができなければ真の復興はありえません。若者が元気でいられる町になるよう、頑張っている人たちを、支えて行きたいと考えます。

●今後の予定

- 6月末 福島県郡山市の障がい者施設にて、チアリーディングのイベントを開催予定
- 7月中旬 岩手県田野畑村の保育園にて食育イベントを開催予定
- 11月中旬 宮城県仙台市内の幼稚園にて食育イベントを開催予定

ずっとおうえん。プロジェクトホームページ
<http://www.fujitv.co.jp/csr/zutto/>

フジテレビのCSR活動



●テレビ局ならではの企画力を活かし、大規模にイベントを開催

2012年から毎年開催! 全社的な被災地復興支援イベント

『みちのく合衆国』



『みちのく合衆国』は、東日本大震災で被害に遭われた方々にお笑いステージや、有名アーティストのライブで楽しんでもらおうと、2012年から行っている全社的な被災地復興支援イベントです。

フジテレビの夏の社屋イベント『お台場合衆国』の収益で実施しており、宮城県、福島県に続いて今回の岩手県が3回目。毎回被災地の方々を無料でご招待しています。

2014年は3月14・15日の2日間、岩手県大船渡市にある大船渡市民文化会館・市立図書館 リアスホールで開催されました。1日目は「THE MANZAI」、2日目は「AKB48」スペシャルライブを行い、被災地の方々合計3,500人をご招待しました。

3年間で宮城・福島・岩手の被災3県をめぐるしました!



みちのく合衆国2012 in宮城
3月17・18日
計 **12,000** 人をご招待

みちのく合衆国2013 in福島
3月30日
計 **7,000** 人をご招待

みちのく合衆国2014 in岩手
3月14・15日
計 **3,500** 人をご招待

フジテレビCSR推進プロジェクトチームは、3年連続でブースを設け、花のカードに夢や復興への思いを書いてもらいメッセージボードを完成させる企画と、キャラクターグリーティングを行いました。

テレビ美術の力で子どもたちに笑顔を

『こども笑顔プロジェクト』

○フジテレビ美術制作局×八美会が協力し初の試みが大盛況

フジテレビ美術制作局と美術協力会社からなる八美会(参加40社)とが連携して、「美術チームでなくては出来ない被災地復興支援を含めた社会貢献活動を行いたい」という思いでこのプロジェクトを立ち上げました。

その第1弾として、2013年10月20日 岩手県大船渡市のショッピングセンターで、地元の子どもたちにテレビ美術の仕事を紹介、一緒にセットを組み立てたあと、人気キャラクターに扮して写真撮影をしました。

第2弾は、2014年4月20日に宮城県名取市ゆりあげ港朝市内の「メイプル館」で開催。のこぎりや金槌の使い方指導や輪ゴム鉄砲の製作、プロのメイク・衣裳担当者による扮装も大人気でした。

いずれも150人以上の方々が参加し、子どもから大人まで多くの方々に楽しんでもらいました。



バカ殿・サザエさん・お姫様・忍者などに扮し、子どもたちが飾り付けたステージで記念撮影

●番組と復興支援を融合させた取り組み

東北の復興への思いを乗せて

特別列車 みちのくSLギャラクシー

東日本大震災から3年となる2014年3月7日～8日、JR東日本の協力により、東北地方の復興への思いを乗せた特別列車「みちのくSLギャラクシー」を走らせました。

被災3県(岩手・宮城・福島)にゆかりのある人々約60人を乗せて東北を縦断しながら、この企画に賛同してくれた多くのアーティストたちの応援ライブ・パフォーマンスを車内及び駅構内で実施。

岩手・釜石駅を出発し1泊2日で、東京・上野駅にゴールするという全行程約600kmにわたるプロジェクトの模様を、朝の情報番組「めざましテレビ」を中心に放送しました。

特別列車を一目見ようと沿線の地域住民の方々などが集まり、温かい笑顔に包まれながら復興への熱い思いを乗せて被災地を走り抜けました。



©フジテレビ

SL走行区間: 岩手県・釜石駅～花巻駅、
東京都・尾久駅～上野駅

出演者: 加山雄三 ももいろクローバーZ
一青窈 住岡梨奈 chay
岩佐美咲(AKB48) 徳永ゆうき

新しい地元産業の創出を目指して

「めざましテレビ」Tattonプロジェクト

『Tatton(タットン)プロジェクト』は、朝の情報番組「めざましテレビ」が、東日本大震災後の2011年5月から継続して行っている復興支援企画です。東日本大震災では、宮城県・福島県・岩手県のあわせて約19,302ヘクタールが海水に浸かり稲作が不可能となりました。そこで、田んぼを再生させようと除塩効果があるという綿花を植えたところ、1年目は35kg、2年目、3年目は120kgのコットンボールを収穫。Tシャツ・ハンドタオルなどを制作して販売しました。さらに2013年度からは「新しい産業の創出」を目指して『Tatton 体感ツアー』を実施。一般から希望者を募り、このプロジェクトに参加してもらいながら、被災地をみてもらいました。これら活動の様子は随時「めざましテレビ」で放送。今年もより一層発展させていく予定です。



©フジテレビ



「サザエさん」放送開始45周年記念

○ありがとう45周年! みんなのサザエさん展

アニメ「サザエさん」放送開始45周年を記念して、これまで長きに渡り「サザエさん」を愛してくださった全国の皆様への感謝の意をこめて、放送史上初めて特別巡回展を開催。
まずは東日本大震災の被災地の方々に楽しんでいただくため仙台を皮切りに巡回を開始しました。



©長谷川町子美術館

多くの方々に「サザエさん」の世界を身近に感じて楽しんでいただこうと、全国30ヶ所以上で開催する予定です。

期間: 2013年10月16日～2015年10月(予定)
会場: 全国30ヶ所以上を巡回予定

○フジネットワーク サザエさん募金を実施 ～フィリピンのレイテ島を支援～

FNS(フジネットワーク)では、台風30号により甚大な被害を受けたフィリピンのレイテ島の被災地支援のため「フジネットワーク・サザエさん募金」を実施しました。番組やホームページで募金の呼びかけをし、2013年11月15日～12月21日までに全国から14,210,696円もの募金寄せられました。

(公益財団法人 日本ユニセフ協会を通じて
現地のユニセフ事務所に送金)

「フジネットワーク・サザエさん募金」は、大規模災害発生時の緊急災害募金として今回が初めての実施となりました。

フジテレビのCSR活動

●その他 継続的に行っているCSR活動

世界の子どもたちの笑顔のために

FNSチャリティキャンペーン

○2013年度は「ネパール連邦民主共和国」を支援

FNSチャリティキャンペーンは、「世界の子どもたちの笑顔のために」をメインテーマとして行っているチャリティ活動です。海外における恵まれない子どもたちの支援を目的に、フジテレビをはじめとするFNS系列28局が日本ユニセフ協会と連携して40年間にわたって実施しています。2013年度は、アジアの「ネパール連邦民主共和国」の子どもたちを支援しました。

2013年度の募金総額

47,972,343 円

最終寄付金額 44,453,995 円

集まった募金は、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援に使われています。



○2014年度の支援国は「フィリピン共和国」

2014年度は、2013年11月に台風30号による甚大な被害を受けた「フィリピン共和国」を支援します。レイテ島と島周辺ではユニセフが恒常的に行っている各分野での貧困地区の子どもたちへの支援が求められています。

集まった募金は、感染予防のためのきれいな水、ポリオ・はしかの予防接種、栄養不良の子どもたちの発見・治療・心のケア、避難所の衛生環境の向上、そして学校の復旧など多岐にわたる支援に使われる予定です。

オリジナルの「出前授業」をさらに実り多いものに!

○『あなせん』プロジェクトをリニューアル ～より魅力的で持続性のある活動に～

あなせんホームページ ▶

<http://www.fujitv.co.jp/ana/anasen/>

アナウンサーによる言葉の授業として2005年からアナウンサーが主体となり行ってきた『あなせん』プロジェクトを従来の形式からリニューアル。実施対象をフジテレビ放送エリア(関東1都6県)に拡大しました。

『子どものコミュニケーションを応援する』を目標に、「スピーチ」「音読」「インタビュー」の3つのプログラムで、「読む」「話す」「聴く」スキルを教えています。



○食育出前授業『ハロー!どっこくん。』

どっこくんホームページ ▶ <http://www.fujitv.co.jp/dokko/>

2010年にスタートしたフジ・メディア・ホールディングスのグループ各社と協働で行う食育プロジェクト。子どもたちに食と運動、排泄の大切さを伝えています。HPを活用し、希望する幼稚園や保育園などで出前授業を開催しています。

合計

81カ所
約8,900人を
対象に実施

これまでの実績

2013年度	29ヶ所/参加人数 3,375人
2012年度	25ヶ所/参加人数 2,270人
2011年度	20ヶ所/参加人数 1,960人
2010年度	7ヶ所/参加人数 1,300人

2014年3月31日現在



**ハロー!
どっこくん。**

©フジ・メディア・ホールディングス/CSR2010

フジ・メディア・ホールディングス各社と行ったCSR活動

●つながることで生まれる新しい力

ゴミのないきれいなまちに…

グループがひとつになって 楽しく清掃活動

○フジ・メディア・ホールディングス各社有志による 台場周辺清掃ボランティア活動を年3回実施しています。

フジ・メディア・ホールディングス各社とともに7月・10月・3月の3回、台場エリアで合同清掃ボランティア活動を実施。

毎回、60人以上が集まり、トンゴとゴミ袋をもって清掃ボランティア活動を行いました。

毎回70リットルのゴミ袋20個近くのゴミを回収し、台場の美化に貢献しました。

清掃を通じて結束が強まっており、今後も継続していく予定です。



ニッポン放送

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン



ニッポン放送が行う「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」への協力をフジ・メディア・ホールディングス各社の有志で毎年行っています。2013年は各社から50人が参加し、募金の電話受付と屋外ステージでの街頭募金を行いました。ラジオを通じて募金を募るこのキャンペーンは、昭和50年(1975年)から行っており、今回が39回目。寄せられた募金は、目の不自由な方が安心して街を歩くのに役立つ「音の出る信号機」の設置や、本を音声朗読した「声の図書」、「立体コピー」など多数の視覚障がい者用教育機器などに使われます。

第39回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

- 実施日:2013年12月24日正午~25日正午
- パーソナリティ:AKB48
- 募金受付期間:2013年11月1日~2014年1月31日

最終募金額 **67,192,528** 円



BSフジ

プレイマットを寄贈&チャギントン上映会



10月9日、福島県相馬市の原町子育て支援センターに何いBSフジが夏のイベント『お台場合衆国』で使ったプレイマットを寄贈しました。

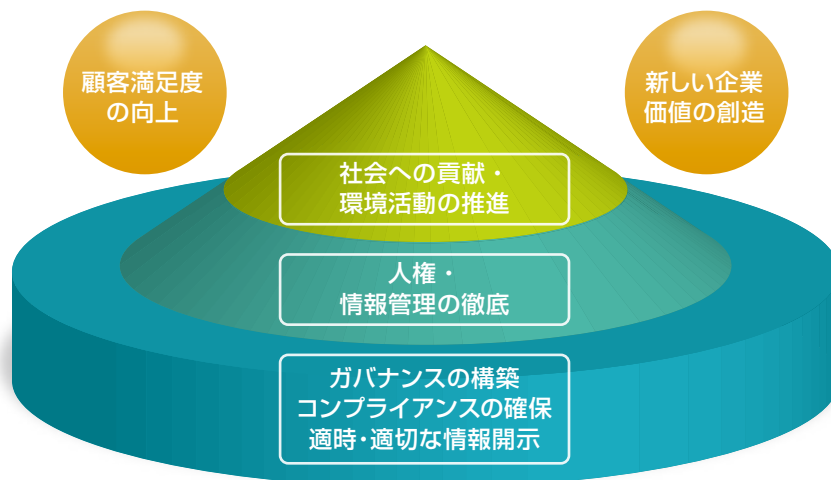
せっかくなら子どもたちとママ・パパに集まってもらって楽しいことをしよう!と、フジテレビCSR推進室のメンバーと生田竜聖アナウンサーでミニイベントを開催。BSフジでも放送している「チャギントン」のアニメ上映と、チャギントンお兄さんを担当していた生田アナと一緒にみんなでダンスを踊りました。



●CSR活動方針 【CSR=Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任の略】

フジ・メディア・ホールディングスは、グループ各社がこれまでに培ってきた実績を基礎に、放送事業を中核とする幅広い分野の事業を展開する新たなメディア・グループとして、国内外から高く評価される我が国を代表する「メディア・コングロマリット」を目指します。フジ・メディア・ホールディングスのCSR活動は、その長期的ビジョンの達成を図り、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者、株主、投資家、取引先の皆様を始めとする国民各層の支持を頂き、フジ・メディア・ホールディングスの持続的な成長を確保するための活動です。

そのため、フジ・メディア・ホールディングスはグループ・ガバナンスの構築、グループ・コンプライアンスの確保を図り、適時・適切な情報開示を行いながら、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者の皆様等の顧客満足度の向上、経営環境の変化に対応した新たな企業価値の創造を目指して、事業活動を通じた社会への貢献、地球規模の環境保全や身近な環境活動を積極的に進めていきます。



○環境活動

フジ・メディア・ホールディングスは、環境を考えるメディア・グループとして、地球規模の環境から身近な環境までの現状や様々な課題に関する情報提供をテレビ・ラジオ・新聞・インターネットといったメディアや出版・音楽といった著作物などを通して行い、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者の皆様とともに考え、行動していきます。

フジ・メディア・ホールディングスは、メディア・グループとして、何よりも今、地球規模で起きている環境問題をグループ企業の事業活動の中で伝え、国民の皆様とともに考え行動することの重要性を共有することが第一の任務と認識しています。そのため、地球温暖化の現状、家庭から始まる省エネ、省資源の推進や新しい環境技術の開発などについて情報提供を行うとともに、「地球環境大賞」等フジサンケイグループの環境活動へも継続して参画することとしています。

また、自らの事業による環境負荷を低減するため、関係法令の遵守を徹底するとともに、あらゆる機会を通じて二酸化炭素の削減、省エネ、省資源の促進するための事業の見直しを行い、環境保全への取り組みを継続的に改善、実施することとしています。

○社会への貢献活動

フジ・メディア・ホールディングスは、メディア・グループとしての社会への貢献を常に意識し、その特質を生かした災害情報提供や芸術・文化活動をはじめ、様々な分野での社会貢献活動を推進していきます。

フジ・メディア・ホールディングスは、大災害時には、国民の皆様生命・財産を守るのに役立つ防災関連情報を積極的・的確に提供します。また、国内外の大規模な災害等への支援活動やその他のチャリティ活動についても積極的に対応することとしています。

さらにフジ・メディア・ホールディングスは、国際的に活躍する芸術家・芸術団体の招聘・作品の展示を行い、国内外の芸術文化団体等への支援を行うとともに、「高松宮殿下記念世界文化賞」等フジサンケイグループの芸術文化活動へも継続して参画し、わが国の芸術・文化の普及・啓発に貢献していきます。

フジ・メディア・ホールディングス ホームページ ▶ <http://www.fujimediahd.co.jp/>